

# 脱炭素社会の未来像

カギを握る“水素エネルギー”



2021年11月5日(金) 14:00~16:15(予定)  
東京国際フォーラムホールC + ライブ配信

全て無料 11月15日~22日 オンデマンド配信も開催

## パネリストプロフィール (50音順)



### 岩瀬 淳一

ENEOS株式会社  
取締役 副社長執行役員  
社長補佐(環境安全部・品質保証部・  
製造部・工務部・技術計画部・水素事業推進部・FCサポート室・  
潤滑油カンパニー・中央技術研究所・製油所・製造所)

1982年早稲田大学理工学部卒業、興亜石油入社。2010年J X 日鉱日石エネルギー 麻里布製油所長。2012年製造技術本部 技術部長。2014年執行役員 技術部長。2015年執行役員 製造部長。2017年J X T G エネルギー 取締役 常務執行役員 製造本部長。2019年取締役 副社長執行役員 社長補佐。2020年 ENEOSホールディングス取締役 副社長執行役員 社長補佐。2021年より現職。



### 佐々木 一成

Sasaki Kazunari

九州大学 副学長  
水素エネルギー国際研究センター長

1987年東京工業大学工学部卒業。1989年同大学院理工学研究科修士課程修了。1993年スイス連邦工科大学チューリッヒ校で工学博士号取得。ドイツ・マックスプランク固体研究所を経て、10年間の在欧後、1999年九州大学・助教授、2005年教授、2011年主幹教授。現在、副学長などを担当。燃料電池の材料・プロセス研究などに従事し、多くの水素関連企業などの産学官地域連携を進め、「九大水素プロジェクト」を先導。



### 高村 ゆかり

Takamura Yukari

東京大学  
未来ビジョン研究センター教授

専門は国際法・環境法。京都大学法学部卒業。一橋大学大学院法学研究科博士課程単位修得退学。名古屋大学大学院教授、東京大学サステナビリティ学連携研究機構(IR3S)教授などを経て、2019年4月から現職。主な研究テーマは気候変動とエネルギーに関する法政策など。再生可能エネルギー買取制度調達価格等算定委員会委員、中央環境審議会会長、アジア開発銀行気候変動と持続可能な発展に関する諮問グループ委員なども務める。『気候変動政策のダイナミズム』など編著書多数。



### 保坂 伸

Hosaka Shin

経済産業省  
資源エネルギー庁長官

1987年通商産業省入省(資源エネルギー庁長官官房総務課)、1990年貿易局貿易保険課総括班総括係長、1992年日本銀行出向、1996年米国ミシガン大学留学、1998年産業政策局総務課長補佐、2004年大臣官房秘書課人事企画官、2005年中小企業庁経営支援部商業課長、2014年大臣官房政策評価審議官、2015年大臣官房審議官(経済産業政策局担当)、2016年大臣官房審議官(産業技術環境局担当)、2017年資源エネルギー庁次長、2019年貿易経済協力局長、2020年7月より現職。



### 前田 昌彦

Maeda Masahiko

トヨタ自動車株式会社  
執行役員  
Chief Technology Officer  
クルマ開発センターセンター長

1994年3月東北大学大学院工学研究科修士、同年4月トヨタ自動車株式会社入社、2016年7月CV Company CVZ ZBチーフエンジニア、2018年1月常務役員就任・新興国小型車カンパニー President、2019年1月執行役員(以降の役職すべて現在に至る)、2020年1月パワートレーンカンパニー President、4月Chief Technology Officer・クルマ開発センターセンター長、2021年1月トヨタZEVファクトリー本部・トヨタシステムサプライ統括。



### 吉高 まり

Yoshitaka Mari

三菱UFJリサーチ&  
コンサルティング株式会社  
経営企画部副部長  
プリンシパル・サステナビリティ・ストラテジスト

IT会社、米国投資銀行等に勤務。ミシガン大学環境・サステナビリティ大学院(現)科学修士。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科博士(学術)。国内外で環境金融コンサルティング業務に長年従事した経験を活かし、現在は ESG投資、SDGsビジネス、気候変動、サステナブルファイナンス領域で多様なセクターに対しアドバイスを提供。三菱 UFJ銀行、三菱 UFJモルガン・スタンレー証券業務。慶應義塾大学大学院非常勤講師。政府の各種審議会等の委員に複数就任。



コーディネーター

### 関口 博之

Sekiguchi Hiroyuki

NHK解説主幹

企業戦略・エネルギー・マクロ経済を担当。1979年一橋大学法学部卒業、NHK入局。経済部記者として官庁・日銀・流通・商社などを担当後、解説委員に。BS「経済最前線」、総合テレビ「経済羅針盤」、「おはよう日本・おはBi z」キャスターなどを歴任。2011年から13年には北九州放送局長も。現在は、エネルギー問題、SDGs、グリーン・イノベーション、成長戦略などを幅広く解説している。

【会場までのご案内】

※お申込みは裏面をご覧ください



2021年11月5日(金)

■ 開場 13:30

■ 開演 14:00 (16:15終了予定)

東京国際フォーラムホールC

千代田区丸の内3-5-1

受付時に、参加証メール画面もしくはプリントアウトしたものをご提示ください。

※開演間際は、受付の混雑が予想されます。時間に余裕をもってご来場ください。

JR	有楽町駅国際フォーラム口より徒歩1分 東京駅より徒歩5分(京葉線東京駅4番出口とB1F地下コンコースにて連絡)
地下鉄	有楽町線：有楽町駅D5出口よりB1F地下コンコースにて連絡 日比谷線：銀座駅B10出口より徒歩7分/日比谷駅A2出口より徒歩5分 千代田線：二重橋前駅1番出口より徒歩5分/日比谷駅A9出口より徒歩7分 丸ノ内線：銀座駅C9出口より徒歩5分 銀座線：銀座駅B10出口より徒歩7分/京橋駅3番出口より徒歩7分 三 田 線：日比谷駅B3出口より徒歩5分

東京国際フォーラムでの開催に際し、公的機関が定めるガイドラインに基づき、感染拡大防止対策に万全を期した上で実施いたします。感染拡大状況によりまして、会場へのご来場における開催は中止となる場合があります。

# 脱炭素社会の未来像

カギを握る“水素エネルギー”

14:00 主催者挨拶

大田 勝幸

「新時代のエネルギーを考えるシンポジウム」実行委員長  
ENEOS株式会社 代表取締役社長

14:10 パネルディスカッション

脱炭素社会の未来像

カギを握る“水素エネルギー”

■パネリスト(50音順)

岩瀬 淳一 佐々木 一成  
高村 ゆかり 保坂 伸  
前田 昌彦 吉高 まり

■コーディネーター

関口 博之

16:15 終了予定

私たちの未来にとって、気候変動問題は避けては通れない課題であり、脱炭素化は世界的な潮流となっています。日本においても2050年カーボンニュートラル達成の方針が政府から掲げられ、多くの企業や研究機関がその実現に向けた革新的技術の開発や社会実装を進めるなど、社会全体での取り組みが加速しており、脱炭素社会の実現・到来は確実視されております。

未来の脱炭素社会とはどのような社会でしょうか。エネルギー消費は電気へのシフトが進展し、その電源は再生可能エネルギーをはじめとする多様なクリーンエネルギーを中心に構成されているでしょう。また、地域の様々なエネルギーインフラを有効活用し、自立・分散型のエネルギーシステムを構築することは、生活に必要なライフラインの維持による国土強靱化に資するとともに、エネルギーの地産地消は地域経済の活性化につながることから、エネルギーインフラを活用した地域・コミュニティサービスが盛んな社会となることが予想されます。この社会でカギとなるエネルギーは水素です。

水素は様々な資源から製造することができ、かつ、運搬、貯蔵が可能なことから、モビリティ等の動力源や家庭・産業用のエネルギー源として利用されることに加え、再生可能エネルギーを海外などから効率よく大量に運び各地に貯蔵するキャリアとしての活用も期待されており、未来の街づくりには欠かせない存在となります。国内でも既に水素を活用した街づくりの実証が始まっており、水素エネルギーの役割、可能性を正しく理解し、社会実装のための課題解決およびイノベーション創出に取り組むことは、私たちの未来にとって重要なことです。

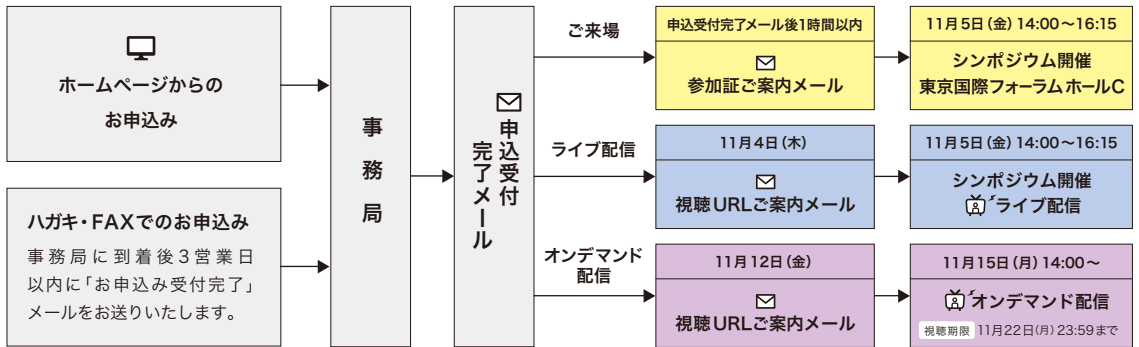
「新時代のエネルギーを考えるシンポジウム」では行政、研究者、学識者、企業といったそれぞれの立場のパネリストをお迎えし、脱炭素化が進んだ未来の社会像や、水素の役割、可能性およびその実装に向けた課題について議論を深めてまいります。

## ご参加の流れ

事務局の「お申込み受付完了」メールを受信いただいて受付完了となります。

お申込み完了後はメールでのご連絡となりますので、必ずメールアドレスのご記入をお願いいたします。

なお、応募多数の場合は先着順になりますのでご了承ください。



※本シンポジウム視聴時の通信費は自己負担となります。

## 視聴申込方法

ご視聴方法はお申込み方法にかかわらずメールにてご案内いたします。info@energysymposium.jpよりお送りしますので、ドメイン指定受信の設定をされている方は解除をお願いします。

会場／配信  
すべて無料



ホームページ ▶ <https://www.energysymposium.jp> | FAX ▶ 03-3456-5627

ハガキ ▶ 〒105-0014 東京都港区芝3-15-14 ヒキタカ芝公園ビル 6F 「新時代のエネルギーを考えるシンポジウム」参加登録事務局 宛

## FAX申込書

FAX・ハガキでのお申込みの際には下記の個人情報の取り扱いについてご承知いただく必要があります。

★個人情報の取り扱いについて：お申込みいただいた個人情報は、ご視聴までの各種ご案内、次年度以降のご案内など、当シンポジウムに関する事務手続きと運営に必要な範囲でのみ使用し、それ以外の用途には使用いたしません。

ふりがな お名前	電話 番号	メール アドレス
ご希望の視聴方法（複数選択可） <input type="checkbox"/> ご会場 <input type="checkbox"/> ライブ配信 <input type="checkbox"/> オンデマンド配信	勤務先	部署名 ----- 役職
住所(〒 - )	本シンポジウムをお知りになったきっかけは？ <input type="checkbox"/> DMチラシ <input type="checkbox"/> E-mail案内 <input type="checkbox"/> 公式HP <input type="checkbox"/> SNS <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 新聞/雑誌 <input type="checkbox"/> ENEOSの公式FB <input type="checkbox"/> 会社から <input type="checkbox"/> 同僚/知人から	個人情報の取り扱い について <input type="checkbox"/> 同意します